

事例報告

～消費者市民社会の実現に向けて～ 企業の消費者教育への取り組み

関西支部会員の川口徳子さんと東京会員の高野逸子さんが参加しました。

日時：平成26年10月18日（土） 10時～17時

場所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館

主催：文部科学省



●事例報告

日本ハムグループの食育活動や体験教室・環境教室・スポーツ教室など消費者教育・社会貢献活動を紹介しました。

日本ヒーブ協議会作成の「お客様の声を活かした取り組み55事例」の目的に加え、6つのカテゴリー別に事例を紹介。企業はお客様の声を真摯に受け止め、改善活動を行っていること、また、消費者が商品・サービスを受けて気づいて声を上げることによって、企業を変える。それが消費者市民社会の実現につながることをお伝えした。

●パネルディスカッション

日本消費者教育学会会長 西村隆男氏のコーディネートのもと、本イベントのテーマ『発信！大学から消費者教育』について、学生・教師・企業の立場のパネラーでの議論をした。生活講座や学生セミナーなどの体験から、企業の取り組みを持って知っていただくなどから、大学と連携して取り組めることはまだまだあることをお伝えした。

●実践交流会：事例展示

商品サンプルをもとに各事例を紹介し、この冊子が、生活者・行政・企業の「連携」と「協働」の第一歩となっていることを説明。



☆いただいた感想のご紹介☆

・今現在おこっていることとして、とても身近で参考になりました。授業の参考にに使わせていただき、生徒の発想力を伸ばしたいと思います。

・非常にきめ細かく対応されている様子がわかり、ぜひ学生に伝えたい。学校で消費者教育をいくつか担当していますので、企業の取り組みとして紹介したい。